

清水桜が丘高等学校グランドデザイン（令和6年度）

学校教育目標 自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育てる

スクールミッション

地域社会に貢献する未来の静岡の創り手を育むため、「つながる学び×つかえる学び」を通して、自己を律する力、共に創り上げる力、突破する力を育成します

グラデュエーションポリシー
～こんな力を育てます～

自己を律する力

他者への配慮ができ、主体的に目標を設定し、達成に向けてひたむきに取り組む。

共に創り上げる力

自他の考えを尊重し、対話を通して仲間とともに課題解決に導き、その喜びを共有する。

突破する力

柔軟な発想と行動で自己の限界を打ち破り、自他の幸福を追求する。

カリキュラムポリシー
～こんな学びを提供します～

豊かな人間関係づくりと個別最適な学び

地域や企業と連携した活動を通じた学び

粘り強く挑み続ける力強い学び

グ ラ ュ エー ショ ン ポ リー	カリキュラムポリシー ～こんな学びを提供します～	成果指標	R06 目標	R05 目標	R05 結果	R04 結果
1	<p>自己を律する力</p> <p>豊かな人間関係づくりと個別最適な学び</p> <p>(1)挨拶・礼儀・マナー等について理解を深め、他者との信頼関係を構築する姿勢を育成する</p> <p>(2)教職員の人權意識の向上に資する取組を継続する（外部講師による職員研修の実施）</p> <p>(3)健康維持、心の健康や育成に資する活動を充実させる（各種検診、SC（スクールカウンセラー）・SSW（スクールソーシャルワーカー）との連携、読書活動等）</p> <p>(4)ICT機器（タブレット端末 BYOD）、普通科30人学級を効果的に活用し、わかりやすい授業と個別最適な学び推進する</p> <p>(5)自己実現に向けて、各自が目標を掲げひたむきに取り組むためのキャリア教育を推進する（進路関係データ（進路希望・試験結果・学習への取り組み状況など）の効果的な活用）</p> <p>(6)取得した資格を活用できる力を身につける</p>	<p>(1) ①気持ちのよい挨拶ができると答える生徒の割合</p> <p>(1) ②礼儀やマナーを大事にしていると答える生徒の割合</p> <p>(2) ③自分によいところがあると答える生徒の割合</p> <p>(2) ④信頼できる先生がいると答える生徒の割合</p> <p>(2) ⑤学校が楽しいと答える生徒の割合</p> <p>(3) ⑥1ヶ月に1冊以上の読書をする生徒の割合</p> <p>(3) ⑦問題行動等件数、交通事故件数の前年度比減少</p> <p>(4) ⑧授業の内容が分かると答える生徒の割合</p> <p>(4) ⑨ICTを活用し、自分にあった学習をしている答える生徒の割合</p> <p>(5) ⑩進学希望者の進路希望（3年当初）の達成率</p> <p>(5) 県内国公立大合格</p> <p>(5) ⑪就職希望者の就職決定率</p> <p>(5) ⑫3年間を見通したキャリア教育計画の作成と、学習への取り組み・進路希望調査等のデータの活用</p> <p>(6) ⑬資格取得により身につけた力を活用できたと答える生徒の割合</p>	85↑	80	81	79
			95↑	90	94	93
			75↑	65	73	69
			75↑	72	72	63
			80	80	76	77
			60	60	57	54
			達成	達成	増加	達成
			70↑	65	68	62
			80新			
			50	50	27	32
			10人	10人	7人	17人
			100	100	100	100
			活用新			
			50	50	43	36
2	<p>共に創り上げる力</p> <p>地域や企業と連携した活動を通じた学び</p> <p>(1)授業改善、ICT機器（タブレット端末 BYOD）を効果的に活用した課題探究型授業を推進する（観点別評価、授業公開、職員研修、授業評価アンケート等）</p> <p>(2)総合的な探究の時間を中心に、教育活動のつながりを意識したカリキュラム・マネジメントを推進する</p> <p>(3)地域社会と連携した教育活動を推進する（外部と連携した授業、外部講師の活用、一部活動一交流など）</p> <p>(4)地域に学校の活動を広報し、理解を促進する（HPの充実、学校紹介リーフレット、学校通信の地域回覧、地域連携の充実）</p> <p>(5)PTAと連携し、保護者の学校教育活動への理解を促進する</p>	<p>(1) ①課題探究型授業を実践している教師の割合</p> <p>(1) ②課題解決力が身についた（日常生活で生かしている）と答える生徒の割合</p> <p>(1) ③自分の考えを説明したり表現したりする力が身に付いていると答える生徒の割合</p> <p>(2) ④総合的な探究の時間や他教科等と、つながりを持った学習活動を行った教員の割合</p> <p>(3) ⑤教科指導、総合的な探究の時間、部活動等における、地域・社会と連携した活動を実施した教師の割合</p> <p>(4) ⑥HP、学校紹介リーフレット、中学生体験入学の見直し</p> <p>(5) ⑦学校教育活動に支援者として参加したPTAの割合</p>	60	60	58	42
			70↑	60	69	57
			70↑	60	67	51
			75新			
			75新			
			実施	実施	実施	実施
			30新			
3	<p>突破する力</p> <p>粘り強く挑み続ける力強い学び</p> <p>(1)学校生活において生徒の主体的な取組を推進するとともに挑戦する意欲を育成する（授業、行事、委員会、部活動等生徒主体の活動）</p> <p>(2)学校が抱える課題に取り組むため、スクラップ&ビルドを行い、学校の柱となる教育活動を検討する（職場体験学習の改善、部活動改革、行事検討、特進クラスの在り方、志願者数増加など）</p> <p>(3)グローバル社会で通用する国際感覚を育成する（海外語学研修、国際交流等）</p>	<p>(1) ①主体的に取り組んでいることがあると答える生徒の割合</p> <p>(1) ②挑戦していることがあると答える生徒の割合</p> <p>(1) ③地域とかかわり、課題を見つけ、自分の考えを表現できたと答える生徒の割合</p> <p>(1) ④複数部活動の東海大会、全国大会への出場</p> <p>(2) ⑤学校の課題を明確にし、解決に向け取り組んだ教師の割合</p> <p>(2) ⑥入学者選抜における、定員を上回る志願者の確保</p> <p>(3) ⑦訪問受入、外国客船歓迎、国際交流活動等の実施</p>	80↑	75	80	73
			80	80	78	76
			80↑	75	77	69
			達成	達成	達成	達成
			80新	達成	達成	達成
			達成	定員割	達成	定員割
			3回以上新			
4	<p>働き方改革</p> <p>(1)各分掌の業務見直しを行い、業務削減を図る</p> <p>(2)ICT機器を活用して、教育活動での生産性の向上を図る</p>	<p>(1) ①各部署における業務の見直しと削減の推進</p> <p>(2) ②ICTを活用し効率化している教員の割合</p>	実施 90	実施 90	実施 95	89